2022-23 INTERNATIONAL ROTARY DISTRICT2770
ROTARY CLUB OF IWATSUKI
since 1963

Weekly Report

クラブ・スローガン　～協力は大きな成果～　そして楽しもう

— The 60th anniversary —

会長 鈴木真樹　例会場 ： 割烹「ふな又」　例会日：木曜日（第１・第２・第３）18 時 00 分点鐘
幹事 小林　篤　事務所：さいたま市岩槻区本町 3-8-2-203　℡048-758-0680　FAX048-758-0681
http://www.iwatsuki-rotaryclub.jp　E-mail:info@iwatsuki-rotaryclub.jp

鈴木真樹年度 第８回　通算 2781 例会　令和４年 10 月８日

第4グループ合同奉仕事業 「森を守ろう、自然を楽しもう～生態系保護から環境問題を考えよう～」

2022 年 10 月８日(土)、前日までの雨天で心配されていた天気も回復し、予定通り、第４グループ合同奉仕事業が秋葉の森総合公園（さいたま市西区）において開催されました。

開会式では内山ガバナー補佐、細淵ガバナー、さいたま市長代理、さいたま市教育長、池谷埼玉県生態系保護協会長、新藤青少年育成三橋地区会長からのご挨拶と、染谷実行委員長からのスケジュールおよび注意事項の説明が行われました。その後、グループに分かれ生態系保護体験学習に取り組みました。岩槻ＲＣは雑木林の地面に積もった落ち葉の片付けと、その落ち葉や木の枝を積むためのストックヤードの修繕作業を行いました。

従来のインターシティ・ミーティングとはまったく違ったグループ合同事業となり、鈴木真樹会長、小林篤幹事、田中芳明ＩＭ実行委員、小林佑次会員、内藤明会員におかれましては準備段階から開催当日まで大変お疲れさまでした。

第4グループ　合同奉仕事業プログラム
森を守ろう、自然を楽しもう ～生態系保護から環境問題を考えよう～

当日の生態系について学ぶプログラム

A 湿地の管理体験
水際で人の背丈より高いヨシなどの草を運び出したり、水路を掘ったりして、カエルやトンボが産卵しやすくなる湿地づくりを体験します。また、冬場の管理作業で湿地に立ち入りやすくするための、すのこづくりも行います。

B 竹の除伐体験
秋になると赤や黄に紅葉する雑木林には、いろんな種類の樹木や野草、野鳥や昆虫などがくらしています。ここ数年、竹がどんどん拡がってきていて、生きもの豊かな雑木林が弱ってしまうおそれがあるので、竹を伐って運び出します。

C 雑木林で落ち葉掃き体験
雑木林の地面には、落ち葉がふかふかに積もっています。この落ち葉を少し押いてあげることで、落ち葉の下で眠る野草が、春に芽を出して花を咲かせるための手助けをします。また、落ち葉や木の枝、刈草などを積んでおく囲いを補修して、カブトムシの幼虫やトカゲなどが棲める場所をつくります。

D 竹の玉切り体験
春にタケノコ掘りができる竹林で、増えすぎた竹を間引くため、太いモウソウチクを伐り倒してあります。このモウソウチクの枝を払ったり、湿地で使うすのこや、雑木林で使う囲いの材料として使えるように、一定の長さに玉切りをします。

E ヨシ原の管理体験
小川に沿ってヨシ原が広がるこのエリアは、秋葉の森総合公園の南半分にあたり、北半分にある自然保護ゾーンと同じく、さいたま市内に残されたとても貴重な自然です。茂ったヨシを刈って運び出し、水面が見えるようにすることで、さらに生きもの豊かな湿地を取り戻します。

本日のタイムスケジュール

8：40	受付		
9：00	主催者挨拶	第４グループガバナー補佐	内山　泰成
	ご来賓挨拶	第 2770 地区ガバナー	細淵　雅邦 様
	ご来賓挨拶	さいたま市長	清水　勇人 様
	ご来賓挨拶	さいたま市教育長	細田　眞由美 様
	ご来賓挨拶	(公財) 埼玉県生態系保護協会 会長	池谷　奉文 様
	ご来賓挨拶	青少年育成三橋地区会 会長	新藤　信夫 様
	各クラブ会長紹介		
	今日のスケジュールと注意事項	実行委員長	染谷　義一
9：30	生態系保護体験学習		
	手洗い	※❶と❷に手洗い場所があります。おトイレは管理棟にあります。	
11：30	昼食タイム	※1000 円チケットを使って、お好きなキッチンカーで食事をおとりください。 ※アンケートの提出をお願いいたします。	
12：30	解散		
13：00	バス乗車		

◆次回の例会◆　令和４年 10 月 13 日（木）　公式訪問準備例会　点鐘：12：30　会場：市民会館いわつき

第4グループ合同奉仕事業 「森を守ろう、自然を楽しもう～生態系保護から環境問題を考えよう～」

ご挨拶

ガバナー補佐
内山 泰成

IM 実行委員長
染谷 義一

本日の合同奉仕事業の開催にあたり行政、各種団体・企業並びにロータリアンの皆様のご協力を頂き無事開催されましたこと、心より感謝と御礼を申し上げます。

例年と違い本年度は、ロータリー7つの重点分野からテーマを選び、グループごとに合同奉仕事業を開催するよう、細淵ガバナーからご指示を頂きました。

第4グループでは、例年より早い段階から会合を重ね、ロータリー7つの重点分野である「環境」から生態系保護の必要性を考える機会をつくることと致しました。

このグループ事業を通して6クラブが協力し合い、切磋琢磨することにより、各クラブの活性化にも繋がることと思います。

「生態系を保護」するということは、「生物の多様性」を認めるということであり、お互い助け合いながら共存して行くということです。

この生態系のバランスが崩れつつある今日、我々は一刻も早く生態系の保護活動を実践し、この美しく豊な森や海を守って行かなくてはなりません。

本日、ご参加頂きました皆様に於かれましては、これを機にご家庭、学校、団体、企業やロータリークラブにおいて、今まで以上の取り組みを心からお願いし挨拶とさせて頂きます。

発行：会報・広報・IT 委員会　委員長 内藤　明　副委員長 関根信行　委員 根岸節子　木村郁夫　岡野育広